

交流だより 高等部 ver. No. 2



令和5年2月13日(月)
総務部発行

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。今年度、高等部の交流及び共同学習では、上野原高等学校との「学校間交流」を2回実施しました。また、「地域交流」では、1年生は大月商店街、2年生はデイサービスセンター「やまゆり」、3年生は「オオツキッチン」とそれぞれ交流を行いました。今回の交流だよりでは、12月に実施した上野原高校との学校間交流と「オオツキッチン」との地域交流についてお伝えします。

学校間交流

12月2日(金):職業Ⅱ(A組、工芸班、サービス班、農園班)

7月に実施した1回目の交流と同じメンバー構成で再度交流しました。久しぶりの対面でしたがすぐに打ち解け、会話や活動もスムーズに行えました。1回目の交流に比べて笑顔も多く見られ、自分から交流相手の手を取って活動に誘う姿も見られました。また、活動時間だけでなく、休憩時間や最後の見送りの時間に、同年代同士の自然な会話で盛り上がる生徒達もいました。上野原高校生から、交流のお礼の手紙のポスターや手作りのクリスマスリースをプレゼントしていただき、生徒達はとてもうれしそうでした。事後学習として国語の時間に書いたお礼の手紙には、「一緒に作業ができて嬉しかった」「もっと交流したかった」「まだどこかで会ったら声をかけてほしい」など、たくさんの感想が書かれていました。



はじめの会、終わりの会は
各教室を繋ぎ、オンラインで行いました。

地域交流

12月8日(金):高等部3年 職業Ⅰ「オオツキッチン」

「働くための健康管理や食事について考え、卒業後の生活に活かす」ことをねらいとし、飲食物に入っている糖分や塩分について、推進員の方の話を聞きました。普段飲んでいるジュースに入っている砂糖の量をスティックシュガーで確認すると、生徒たちは驚きを隠せない様子でした。その後、推進員の方と一緒に、栄養バランスが良い献立作成に取り組みました。生徒たちは、自分の好きなメニューを取り入れながらも、健康に良い食事を意識していました。また、生徒たちにオオツキッチンオリジナルの簡単に作れる料理のレシピ集を配布していただきました。生徒はじっくり見ながら「これ作ってみたい!」「これなら作れるかも?!」と嬉しそうに推進員の方と話をしていました。卒業後の生活に生かすことのできる学習となりました。

